

Title	表紙・目次 (泌尿器科紀要 第14巻第10号) 編集後記・購読 要項・投稿内規
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (1968), 14(10): 770-770
Issue Date	1968-10
URL	http://hdl.handle.net/2433/119922
Right	
Type	Others
Textversion	publisher



Vol. 14, No. 10

Acta Urologica Japonica

October, 1968

泌尿器科紀要

第 14 巻 第 10 号

1968年10月

随想 腎血管造影	玉木 正男	707
いわゆる Non-visualizing Kidney について	加藤 篤二・沢西 謙次・小林 啓躬・川村 寿一・上山 秀麿・岡部達士郎・三宅ヨシマル・山下 爵世	709
長期血液透析における前腕部皮下動静脈瘻設置について	宮崎 重・定延 和夫・佐藤 公彦・谷村 実一	718
Ureteritis Cystica —その1例と文献的考察—	桐山 奮夫・多嘉良 稔	726
Dormia stone basket による尿管内尿管腫瘍の生検法	桐山 奮夫・山下 爵世	733
陰囊内辜丸外横紋筋肉腫の1例	永野 俊介・栗田 孝・下江 庄司	745
両側性 Spermatocytic Seminoma の1例	友吉 唯夫・川村 寿一	753
昭和42年度神戸大学泌尿器科患者の統計的観察	石神 襄次・ほか	758
Cystometry よりみた Cometamin の神経因性膀胱に対する効果	酒徳治三郎・桐山 奮夫・大北 純三・田尻葵矩夫	767
編集後記・購読要項・投稿内規		770

CONTENTS

Editorial: Renal Angiography	M. Tamaki	707
Non-Visualizing Kidney	T. Katō, K. Sawanishi, H. Kobayashi, J. Kawamura, H. Ueyama, T. Okabe, Y. Miyake and A. Yamashita	709
Experiences of the Long Term Hemodialysis with Subcutaneous Arterio-venous Shunt	S. Miyazaki, K. Sadanobu, K. Satō and J. Tanimura	718
Ureteritis Cystica: Report of a Case with Review of Literature	T. Kiriya and M. Takara	726
Biopsy of Intra-ureteral Tumor with Dormia Stone Basket	T. Kiriya and A. Yamashita	733
Intrascrotal Extratesticular Rhabdomyosarcoma: Report of a Case	S. Nagano, T. Kurita and S. Shimoe	745
Bilateral Spermatocytic Seminoma: Report of a Case	T. Tomoyoshi and J. Kawamura	753
Clinical Statistics on Patients, Operations and Main Urological Examinations in the Department of Urology, Kobe University, 1967	J. Ishigami et al.	758
Clinical Effects of Cyclothiamine (Cometamin) on Neurogenic Bladder: Cystometric Study	J. Sakatoku, T. Kiriya, J. Ōkita and K. Tajiri	767

寄贈

禁帯出

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan
Acta Urol. Jap.

Editor: Prof. Tokuji KATO

編 集 後 記

10月の空はくっきりと晴れ、実にすがすがしいが世情は騒然、特に混乱する大学と学園紛争の姿が目につく。

このような中でそろそろ学会シーズンを迎え、筆者も久留米の日本不妊学会を手始めに、日本癌学会、癌治療学会、腎臓学会へ教室員とともに参加した。一様に感じることは学問研究が日とともに深くなりかつ分化して講演を伺ってもなかなか理解できぬものが多くなったのは、聞き手の頭脳の老化のせいもあるがなんとも致し方がない。

一方研究者が研究に徹することによって教育の実があがり、研究活動が教育の意味をさすものと今まで考えていたが、この頃では研究と教育との両立がむずかしく、わけてもわれわれ臨床家にはなおさらこのことが痛感される。何はともあれこの困難にもめげない日本の医学のたくましさや諸学会で感じとり、深い敬意を捧げたい。

本月号の随想には血管撮影の権威玉木教授の玉稿を戴いた。御一読を願います。

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料1,800円(送料共)を前納していただきます。
分売は1冊150円(送料別)。払込みは振替口座番号 京都 4772番 泌尿器科紀要編集部、あるいは第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、振替または銀行払の別を御記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込み下さい。
4. 新規に個人で入会の方には最初の1年購読料1,000円の特典を設けます。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいて下さい。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。御希望の場合は当編集部にて翻訳しますので、抄録用の和文原稿を別に作成して下さい。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプライターを使用して2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけて下さい。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真等はすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等として下さい。
7. 文献の書式は次のようにして下さい。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
例 1) 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 1955.
2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
文献名は正式略称を用いて下さい。例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌: J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等
B 単行本の場合 著者氏名: 書名. 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
例 1) 加藤篤二: 日本泌尿器科全書. Vol. 5, p. 175, 金原出版&南江堂, 東京, 1960.
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell. M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。あらかじめ希望部数を申し込んで下さい。特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみが行ないます。
10. 原稿は最終的に返却致しません。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けは致しません。
12. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第14巻 第10号 昭和43年10月25日 印刷 昭和43年10月31日 発行
定価150円(送料別)

編集発行人 加藤 篤二 顧問 稲田 務 発行所 泌尿器科紀要編集部
606 京都市左京区聖護院川原町53 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話771-8111 学内5806
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入